

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
基礎	倫理学	1	30	1年次前期	非常勤講師

テキスト(発行所)	『テーマで読み解く 生命倫理』 教育出版
-----------	----------------------

学習のねらい	倫理的な考えを通して、人間の存在、価値観、ものの見方を学び、自分の倫理観を持つことができる。
学習目標	現代社会の生命倫理の諸問題を倫理的な観点から考察し、自分の倫理観を作る。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	倫理学とは何か	倫理学とはどのようなものかを理解する	講義
2回	義務論と目的論	カントに代表される義務論的倫理学とベンサム、ミルを中心とした目的論の考え方について理解する	講義
3回	生命倫理の四原則	生命倫理学の基本原則となる四原則について学ぶ	講義
4回	安楽死について(1)	事例の提示と解説 (オレゴン州の安楽死法など)	講義
5回	安楽死について(2)	参考文献とインターネットなどを使った発表の準備	グループ作業
6回	安楽死について(3)	発表とディスカッション	発表
7回	代理出産について(1)	事例の提示と解説 (カリフォルニア州の代理出産制度など)	講義
8回	代理出産について(2)	参考文献とインターネットなどを使った発表の準備	グループ作業
9回	代理出産について(3)	発表とディスカッション	発表
10回	人工妊娠中絶について(1)	事例の提示と解説 (アメリカの中絶問題など)	講義
11回	人工妊娠中絶について(2)	参考文献とインターネットなどを使った発表の準備	グループ作業
12回	人工妊娠中絶について(3)	発表とディスカッション	発表
13回	遺伝子技術について(1)	事例の提示と解説 (遺伝子診断、優生学的問題など)	講義
14回	遺伝子技術について(2)	参考文献とインターネットなどを使った発表の準備	グループ作業
15回	遺伝子技術について(3)	発表とディスカッション	発表

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること。 2. 授業中のグループ作業等の平常点(40%)および講義終了後に提出する個人作成のレポート(60%)で成績を評価する。
受講上のアドバイス	三回の導入的な講義の後、四つのテーマについて、(1)事例の提示と解説、(2)参考文献とインターネットを使った調査による準備、(3)発表とディスカッションという手順で取り組みます。協力し合ってグループ作業をしてください。また発表の際には積極的に発言をしてください。